

## ユネスコ創造都市ネットワークについて

### 1. 概要

- ユネスコの事業として2004年に創設。創造性(creativity)を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すもの。各都市は同ネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力などを行う。
- 年に1回、ユネスコ創造都市ネットワーク総会が持ち回りで開催されている。また、4年に1度、モニタリングレポートの提出が求められている。
- 加盟申請・登録は、原則2年に1回、ユネスコが公募する。都市（自治体）が直接ユネスコへ申請する際に、日本ユネスコ国内委員会の承認状(Endorsement letter)が必要。
- 世界の加盟都市は80か国以上246都市で、7分野（文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化）のいずれかに分類されている。
- 国内の加盟都市は以下の9都市。

都市名	分野	加盟年
神戸市（兵庫県）	デザイン	2008
名古屋市（愛知県）	デザイン	2008
金沢市（石川県）	クラフト&フォークアート	2009
札幌市（北海道）	メディアアート	2013
鶴岡市（山形県）	食文化	2014
浜松市（静岡県）	音楽	2014
<sup>ささやま</sup> 丹波篠山市（兵庫県）	クラフト&フォークアート	2015
山形市（山形県）	映画	2017
旭川市（北海道）	デザイン	2019

### 2. 2021年国内公募の結果

- 2021年4月のユネスコの公募を受けて、日本ユネスコ国内委員会にて国内公募を行った結果、大分県臼杵市（食文化）の1都市から応募があり、日本ユネスコ国内委員会文化・コミュニケーション小委員会 ユネスコ創造都市ネットワーク新規加盟申請にかかる選考ワーキング・グループにおいて審議の結果、推薦を決定。

- 申請案件概要は以下のとおり。

#### 大分県臼杵市

- 7分野のうち「食文化」分野で申請。
- 伝統的な和食を根底から支える味噌・醤油などの醸造・発酵産業に支えられた伝統的食文化を有する。
- 近年は、さらに完熟堆肥を用いた土づくりを基本とする有機農業や水源涵養の森づくり、地産地消を推進し、持続可能な食文化へとつなげるとともに、循環型社会の実現を図ろうとしている。



麴造りの湯気が出ている可児醤油  
©Fumiaki Himawari, 2021



きらすめし  
©usukiyaki, 2017



可児醤油の味噌づくり  
©Kani shoyu, 2017

### 3. 現状の課題について

- 優れた国内の取組をユネスコ登録に結びつける方策
- 国内における広報・普及
- 登録都市の分野バランス（7分野のうち、文学分野は未登録）
- ユネスコ創造都市ネットワーク（ユネスコ事業）と創造都市ネットワーク日本（文化庁事業）との関係のあり方
- 国際的な発信